

夕刊 警城時報

行發日四廿
編輯兼發行 岡田弘成
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金廿圓
廣告料一行十圓 計五十五圓
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

目的如何によつては 汽車乗車を断る 鐵道輸送の新体制

最近眼に余る乗物地獄の根本對の改正は、今まで規則改正といへば、市内二丁目商工業組合聯合事務所と平信組事務所から地下鉄規則の一部改正を断行すること、舊体制を一掃、時局に適切な輸送体制の立場から今後には急不のほど最後の成案を決定した。要の旅行や配給品、贈品、のどけい、十二月一日から全不急不品などの手荷物、小國に實施する。これは去る一日口貨物の受託を新たに規則の上から断行する豫定であつたが、從て制限し國策輸送の同消化へ至來に例のない交通新体制の確立國民の協力を求めようといふ測とあつて慎重を期したため豫定「断」である。

不正乗客激増に鑑み 鐵道で徹底取締

最近鐵道乗客中不正行為を敢てする者が激増したので鐵道當局では徹底取締を行ふ事になつたが、右について係官は語る。最近の車内混雑が都合のよい條件となり又痛感されるのは一般社會人の「不正」に對する道徳的稀薄で、道徳上さしたることはないと考へてゐる者が多く、又不思議な現象と思はれるのは、金に關しての不正乗客でないことである。第一運賃支拂といふものは鐵道省や鐵道會社の利益のためでなく、これは公益事業であるといふことを考へて貰ひたいものである。當然なる負擔

軍馬慰靈祭執行 明治天皇御製と奉唱

平市佛教同志會では二十四日午前十時から松ヶ岡公園入口の出征軍馬慰靈祭を執行した。祭主遠藤心光師の挨拶後、皇居遙拜、黙禱後、明治天皇の御製、人ならばほまれしるし授け、まじ軍にはに立ちし荒駒。戦の場にはに立ちし荒駒。にたふれし駒はいくらぞ。を奉唱、讀經、焼香後安島石城薩馬組合長の朗誦があり、軍馬祭歌、愛國行進曲を合唱、過般郡山市の銀鏡會で表彰された軍用馬も参拜し厳肅盛大裡に正午終了した。

最近の農村の位置

それは彼等の致々たる勤勞に對し、酬ひられること尠い。その日常生活に對して、せめてなり酬ひべきわれわれの義務行爲ではなからうか。そしてまた大きくは現下の食料問題を確保するといふ立前からは、先づ彼等の生活そのものを健全に確保せしめて行くのでなければ、その充分な成果は期待し得ないといふこと、をわれわれは反省する要はないだらうか。彼等の生活を健全に確保す

平局の國債消化

國債の爲めに、堅實な利殖に支那事變國債の購入をすすめる。その第十八回の賣出し平局の割當は、十圓券五〇〇枚、二十圓券三〇〇枚、廿五圓券三〇〇枚、五十圓券二〇〇枚、百圓券五〇枚、五百圓券四〇枚、千圓券六十枚の額面總額十萬二千七百五十圓で第一日廿一日の消化高二千二百四十圓、第二日は約五千圓、二日間で七千餘圓(豫約を加へず)を算し相變らぬ餘額の赤字を算されてゐるが、今回は仙臺選信局の見込みも一段と高められて居り、平局では保員總出をもつて努力中である。來十一月一日までの賣出し期間までには前記割當額を突破するであらうとの豫想である。

故金成中尉の奮闘談を 川崎氏浪曲で紹介

讀賣新聞平賣店では二十六日は茨城部隊に屬し奮闘した故金成中尉の如く決定實施された。午後五時から平市公會堂で出征勇士で平市出身故金成中尉の奮闘談を浪曲で公開する事に、川崎氏浪曲の第一なつてゐる。

醫師のない大久村に 一千五百圓寄附

双葉郡大久村大字大久村三郎の衛生費の一部として千圓と(五)氏は滿洲國に於て土木請同村と久之濱町合同小學校に對し、新体制に即應し今回市洋で漁獲した鯉の肉で牛肉ロース三丁目に小賣部を出し、獨立して丸食品店を分離、獨立して丸食品店を出し、鯉十錢で牛肉の四分の一で代用品肉、眞鯛、冷凍鯛、ハム、ソーとして自慢のものである。

鮮魚公定價格

十日決定實施

きす	五五	ちち	四五〇	一三九
ちち	四五〇	ひらめ	六五	九九
ひらめ	六五	さざり	九	一五〇
さざり	九	あさか	一五	二九
あさか	一五	まがはれ	一五	二九
まがはれ	一五	あか	一五	二九
あか	一五	あか	一五	二九
あか	一五	あか	一五	二九
あか	一五	あか	一五	二九
あか	一五	あか	一五	二九

牛肉ロースの代用品 ヒノ丸食品店開業

日本水産の冷凍魚、鯉、鯉等を販賣するが、特に鯉の赤肉は從來平賣で取次販賣をして日本水産會社所屬岡南丸が雨水たが、新体制に即應し今回市洋で漁獲した鯉の肉で牛肉ロース三丁目に小賣部を出し、獨立して丸食品店を分離、獨立して丸食品店を出し、鯉十錢で牛肉の四分の一で代用品肉、眞鯛、冷凍鯛、ハム、ソーとして自慢のものである。

小児科・内科 酒井醫院

入院隨時
平市南町(電話五五五)
醫學博士 酒井 保

